

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 1 区分
 【発行日】平成28年9月8日 (2016.9.8)

【公開番号】特開2015-169578(P2015-169578A)
 【公開日】平成27年9月28日 (2015.9.28)
 【年通号数】公開・登録公報2015-060
 【出願番号】特願2014-45523(P2014-45523)
 【国際特許分類】

G 0 1 N 3/08 (2006.01)

【 F I 】

G 0 1 N 3/08

【手続補正書】

【提出日】平成28年7月21日 (2016.7.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

直線可動して試験片に負荷を与えるアクチュエータと、当該アクチュエータを所定の位置に保持するアクチュエータ固定台と、

当該アクチュエータの端部に設けられたつかみ具と対をなして前記試験片をつかむ他方のつかみ具を備えた反力台と、当該アクチュエータ固定台と当該反力台を連結するベースから成る 1 軸試験構成を複数組み、該複数組の 1 軸試験構成の各アクチュエータの概ね軸中心を通る試験軸が全て 1 点で交わり、かつ同一平面に含まれるように該複数組の 1 軸試験構成を配置したことを特徴とする試験装置。

【請求項 2】

前記請求項 1 に記載の試験装置において、前記複数組の 1 軸試験構成の各 1 軸試験構成は、前記各アクチュエータの概ね軸中心を通る試験軸を全て含む平面と平行に可動できるか、もしくは位置が固定されており、前記試験片が取り付けられていない状態において、前記複数組の 1 軸試験機構のうちの可動する 1 軸試験構成の動きを前記複数組の 1 軸試験機構のうちの他の 1 軸試験構成が妨げないことを特徴とする試験装置。

【請求項 3】

前記請求項 1 又は 2 に記載の試験装置において、前記複数組の 1 軸試験機構として前記 1 軸試験構成を 3 組み、当該 3 組の 1 軸試験機構の各アクチュエータの概ね軸中心を通る 3 本の前記試験軸が 0°、45°、90°の角度関係を有するように配置したことを特徴とする試験装置。

【請求項 4】

前記請求項 1 から 3 の何れか 1 項に記載の試験装置において、前記アクチュエータ固定台と前記反力台が、全ての前記試験軸を含む平面を境として異なる 2 つの側の空間内で前記ベースあるいは補剛部材によって接続されたことを特徴とする試験装置。